

教会施設の緊急使用停止について

2021年10月18日

主任司祭 高橋慎一
教会委員長 村岡明代

清水教会では、2002年から信徒会館の耐震について話合いが重ねられてきました。そして2014年6月に教区より、「清水教会建設委員会」の発足を認可されて具体的な計画に入っていました。話し合いを重ねる中で、現聖堂の保存の可否が建設計画の中で、大きな課題として話し合われるようになりました。2015年11月19日、清水教会より教区に「緊急建設委員会報告」を送付して、大きな資金を投入しての聖堂保存は断念する考えを伝え、教区から現聖堂の維持の断念を承認されました。

清水教会の状況を配慮した教区は、2019年1月29日に「清水教会現聖堂については補完性の原理に則り、教区が行う」という今後の「決定通知」を示しました。

7月には教区建設委員会によって選定されたKR建築研究所による耐震診断がなされ、その結果をもとに2020年8月21日付「通知書」を以て聖堂保存を断念し、聖堂を解体して新たな教会施設の建設が結論として示されました。この決定については、コロナ禍の状況を配慮しつつ教区から清水教会の信徒への説明会が行われる予定です。

2021年8月中旬には先唱台の天井部分の漆喰が落下し、調べた結果他にも大小・深淺の亀裂が壁、天井に多数あり、崩落の危険が大きいことがわかりました。そのため教会委員会は教区にこのまま使用していても良いものかどうか問い合わせをいたしました。9月17日の教区建設委員会と9月27日の司教顧問会において検討された結果、信徒の安全を優先にして、今後使用禁止とする決定についての書類を頂きました。急な決定で信徒の皆様も淋しく、残念に思われると思いますが、やはり優先すべきは皆さまの安全ということでご理解いただきたいと思えます。

清水教会現聖堂および信徒会館は、10月末をもって使用停止といたします。今後のことを委員会で話し合い、草薙教会の評議会でも検討していただいた結果、2021年11月から、新しい清水教会の教会施設が建設されるまで、ミサと活動の全てを、草薙教会をお借りして行うことといたしました。

現在のところコロナにより簡素化されたミサを、一週おきにおこなっておりますので、ミサの場を草薙教会聖堂において、この間隔でそのまま継続いたします。清水教会としてのミサは11月14日（日）南部の皆さん、11月28日（日）東・北・蒲原ほかの皆さんで、10時30分から草薙教会聖堂で行います。自家用車の相乗り希望の方は委員会までお声かけください。なお、草薙教会駐車場は約20台ほどなので、満車の際は近くのコインパーキングをご利用ください。

どうぞ、皆さまコロナ禍で苦しむ世界中の人たちの為にお祈り頂くとともに、

今回の試練の中で前に進んでいく清水教会共同体のために

共に力を合わせ互いに祈り合うことをお願いいたします。